

## ITの未来を予想:

# Ivantiが予想する大胆でありながら現実的な2019年以降のITに関する動向

フォーチュンクッキーの中に入っているおみくじに書かれている予言を信じているなら、ITの未来に影響を与えるトレンドについての予想を信じてみてもいいのではないのでしょうか？

当社の最も優秀なエキスパート達に2019年以降のIT業界について予想していただきました。Windows 10の未来から、一般データ保護規則施行後初の多額の罰金が科せられる事態を目の当たりにする日まで、IT全般に関する大胆でありながら現実的でもある動向や出来事に関する見解をお届けします。今年はもちろん、来年以降のIT部門の優先事項や予算を計画する際に、これらの見解を考慮していただければと思います。



**Ian Aitchison**  
Senior Product Director, Ivanti

2019年の事業計画の最優先事項にAIと自動化を含めていないCIOは、**2021年**にはCIOではなくなっているでしょう。

**2021年までに**、本人確認は、高い信頼性と一貫性がある顔認識やその他の生体認証で行われるようになるでしょう。文字列のパスワードはこの世からなくなるでしょう。

**2021年までに**、成功を収めているIT組織は、これまでクラウド環境やオンプレミス環境上に分散され個々に切り離されサイロ化されていたIT部門の業務を自動化するでしょう。

サイロ化されたIT部門の業務を統合せずに事業運営を続ける企業は、自動化を導入する競合企業に市場シェアを奪われることになるでしょう。

**2022年までに**、成功を収めているCIOは、複数の複雑な「what if」(仮定)ITシナリオをAI対応にすることを戦略的業務計画において実行するでしょう。各社でAIの導入が進む環境において、適切な競争力のある技術的IT戦略を選択することで、全社規模での成功率が劇的に上がるでしょう。

**2025年までに**、戦略的計画向けの新しいAIが初めて公開され、すべての事業戦略の責任者に指針を提供し、取締役会の役員レベルの意思決定を支援するアシスタントとして効果的に機能するようになるでしょう。



**Jon Rolls**  
VP of Product Management, Ivanti

**2021年までに**、企業のWindowsデスクトップの大多数が、Active Directoryに参加されなくなるでしょう。

**2021年までに**、初の企業がIT部門のオンプレミスのデータセンターを廃止し、クラウドからのITサービスに頼るようになるでしょう。

**2022年までに**、オンプレミスの仮想デスクトップインフラ(VDI)の30%がクラウドにホストされた仮想デスクトップに移行されるでしょう。

**2022年の時点で**、大企業は少なくとも50種のビジネス向けのWin32アプリケーションに依存しているでしょう。



**Marcel Shaw**  
Federal Sales Engineer, Ivanti

**2019年**、IT資産管理(ITAM)はITサービス管理(ITSM)に統合されるでしょう。これにより、変更管理プロセスと共に構成管理データベース(CMDB)が改善されるでしょう。

**2020年までに**、ITAMはあらゆる総合的なサイバーセキュリティソリューションの中核を担う機能となるでしょう。2018年は、データ漏洩件数が過去最低となり、世界中の政府機関が注目する事態となりました。政府からの新たな要求では、サイバーセキュリティの侵害に立ち向かう方法としてITAMのベストプラクティスを導入し、従うことが求められるようになるでしょう。

**2021年までに**、IoTの追跡は、多くの企業にとって必要不可欠なセキュリティ要件となるでしょう。その結果、ITAMソリューションでは、IoT管理の課題を軽減する方法として人工知能(AI)技術が使用されるようになるでしょう。

**2035年までに**、ITAMソリューションは、人間の介入を必要とすることなく、AI技術によって管理されるようになるでしょう。地球上に存在する880億の人が1人あたり平均16台の接続デバイスを所有する世界において、資産管理の需要を満たし続けるためには、ITAMにAI搭載の人間以外の資産管理責任者が必要となるでしょう。



**Kevin J. Smith**  
VP of Strategic IT, Ivanti

**2023年までに**、IT部門の業務プロセス全体の60%が完全に自動化されるでしょう。

**2028年までに**、企業や地域の事業所で働くITスタッフの数はわずか10%となるでしょう。

**2025年までに**、CIOの半数(50%)が日々の最新情報、重要な指標、顧客のエスカレーションの追跡、サービスの停止、要処置事項の自動実行を支援する対話型のサポートを提供するためITインテリジェントアシスタントを活用するようになるでしょう。

**2028年までに**、現在手動で行われているIT業務および事業プロセス全体の95%が完全に自動化されるでしょう。



**Alan Braithwaite**  
Director of Product Management, Ivanti

**2019年**、年はデバイスのWindows 10への移行に関して多くの企業がパニックに陥る一年となるでしょう。企業のほぼ100%が、Windows 10への完全移行もしくは大部分の移行を完了するための重大なプロジェクトを予定しています。

**2020年までに**、本番環境における最先端の管理ソリューションの使用率が5%から2倍の10%になることが見込まれますが、少なくとも半数の企業が今後どのように最先端の管理ソリューションを使用していくかを検討するためにテスト使用を開始することを予定しています。



**Rex McMillan**  
Product Manager, Ivanti

**2023年までに**、AIは企業の至る所に導入されるようになるでしょう。これはAIの時代の到来となるでしょう。適切な形で導入されれば、AIが活用されていることに気付かれずAIを活用できるでしょう。

**2020年までに**、Microsoftは史上最大のアンチウイルス対策ベンダーとなるでしょう。Microsoftはアンチウイルス対策市場の半分以上を占め、信頼できるアンチウイルス対策ベンダーとして認識されるようになるでしょう。

**2025年までに**、財務部門、営業部門、IT部門にAIの専門スタッフが配属されるでしょう。CIOは、AIと機械学習専用の部門を設置するでしょう。この部門に対する経営幹部の関心は高まるでしょう。マーケティング、営業、財務などの部門は、自分達の責任について見解/情報を得るため、この部門にどんどん頼るようになるでしょう。



**Phil Richards**  
CISO, Ivanti

**2020年までに**、GDPRによって科せられる最高額の罰金である2,000万ユーロまたは年間収益の4%に相当する罰金が科せられる大手企業を目の当たりにすることになるでしょう。

**2021年までに**、オンライン取引の認証方法として多要素認証が主流となるでしょう。

**2021年までに**、企業のシステムおよび個人のシステムを標的とするエクспロイトの90%が、利用できるパッチが公開されている脆弱性を狙ったものとなるでしょう。2021年に不正侵入されることを防ぐため今すぐパッチを適用してください。



**Chris Goetti**  
Director of Products, Security, Ivanti

**2019年は**、企業がJava SE 8の使用終了に苦戦する年となるでしょう。また、多くの企業が追加サポートを受けるための料金を支払わないでしょう。2019年末までに、多くの企業が自社環境に侵入するためのアクセス権を取得する方法を攻撃者に提供していた真犯人がJava SE 8であることに気付くでしょう。

**2020年までに**、Windows 7から卒業できず、Microsoftに延長サポート料金を支払うことに難色を示している企業は、クリティカルな脆弱性にさらされるでしょう。

**2020年までに**、IT運用部門とセキュリティ部門は、今後も増加するセキュリティインシデントを効果的に管理することを目的に、評価から修正までエンドツーエンドの脆弱性管理を提供するため、それぞれの部門の取り組みを統合することが余儀なくされるでしょう。

これには、現在セキュリティ部門とIT運用部門の間で行われる手動の作業を自動化する必要があるでしょう。また、「一切措置を講じない場合のリスク」と「適用される更新プログラムや変更の信頼性」を比較したデータなど、クラウドから供給されるデータからのテレメトリデータのさらなる活用が必要となるでしょう。

皆様の見解をお聞かせください！  
2019年以降についてご自身が予想していることをお聞かせください。  
また、ITの未来についての見解もお聞かせください。

SHARE YOUR PREDICTIONS